

申請者	所在地	認定日	事業名	事業概要
白井千恵子	厚木市	H23.5.31	地域資源を活用したブランド豚肉の加工・販売事業	自ら生産する豚を独自の資料配合、系統造成、客観的認証システムの導入などにより高付加価値化し、「桃茶豚」としてブランド化、加工品開発、販路開拓を目指す。インターネット活用、レストランへの卸売、直売店、海外富裕層への販路開拓に取り組む。
合同会社さがみこ有機畑	相模原市	H23.5.31	有機農産物を素材にした惣菜加工施設の開設と都市部への直接販売	自ら生産した有機農産物を使用した惣菜やパン、スイーツの製造・販売を行う。また、消費者に直接届く販売体制により、生産の背景を消費者に伝え、消費者との共同企画の商品を作るとともに、消費者も生産に関わる体勢の構築を目指す。
竜海丸鈴木直樹	横須賀市	H23.10.31	地域の特産品である魚類を利用した商品の加工・販売事業	自ら採取した魚類を使用し新商品の開発に取組み無駄のない漁業を目指す。販売については他業種の野菜生産者などと連携し販売の共有化や合同販売を展開、近隣漁業者とも連携し開発したセット商品のネット販売やイベント販売を実施する。
株式会社ピュールアイ	大和市	H24.2.28	自社栽培しているいちごの加工・販売業	自社生産のいちごを活用し乾燥イチゴ、菓子の製造販売等により経営の多角化・安定化を図る。
株式会社平敏丸	横須賀市	H24.5.31	湘南佐島しらすの「たたみいわし」と佐島海藻を使った新商品の開発・販売事業	神奈川県ブランドのしらす加工品である「たたみいわし」の規格外品や、海藻類の加工時に生じるくず葉やわかめの茎などを有効利用し新たな付加価値をつけた「ご当地海藻スープの素」、「ご当地味付け茎わかめ」を開発し直売所のほか、業務用として飲食店などに販売ルートを広げていく。
新藤洋一	厚木市	H24.5.31	津久井在来大豆を使った味噌づくりと新たな味噌加工品の商品開発及び販売による地域ブランド化の推進	自宅敷地内に新たな加工販売施設を整備(自費)するとともに、味噌の主原料である大豆にこだわりを持ち、かながわブランドである津久井在来大豆の生産に自ら取り組み、100%自家製味噌作りをすることで安全安心な商品を直接、消費者に提供することで地域ブランド化を図る。
株式会社グリーンピア相模原	相模原市	H24.10.31	都市農業にマッチした安全・安心なニンニクの生産と発酵熟成ニンニクの加工・販売事業	相模原市の新たな地域特産加工品となることを目指してニンニクの作付面積を0.6haまで拡大し、付加価値の高い発酵熟成ニンニクの商品開発及び製造を行うとともに、自社農産物直売所での販売やモナの丘レストランでの提案メニューの提供を通じて認知度をさらに向上させ、かつ、健康増進を志向する都市住民が入手しやすい新たな販路構築(地元スーパー)及び加工品の周年安定供給を通じ、農業経営のさらなる多角化及び高度化を進め、農業経営の改善を図る。
有限会社相澤良牧場	横浜市	H24.10.31	牛乳とアイスクリーム(ジェラート)の自社生産加工・販売事業	牛乳の委託加工費並びに販売費等のコスト削減を図るために、自社で乳製品加工販売施設を整備する。また、搾乳から牛乳の生産・販売を自社で一貫して行うことで、安全・安心な牛乳を直接消費者に提供することで一層の地域ブランド化を図り、さらには、その牛乳を使った高付加価値のアイスクリーム(ジェラート)の商品開発を行い、自社生産・自社販売へ経営改善することで、利益率向上、地域活性化と雇用の促進を図る。
神奈川県中央養鶏農業協同組合	愛川町	H24.10.31	鶏卵の規格外卵を有効利用したお菓子等の加工・販売事業	自社生産の規格外卵を主原料とした商品を開発・生産すると共に、新たな販売方式を構築することによって、経営の多角化を図り、組合員の所得向上を図る。なお、新商品は、「たまごのソフトクリーム」、「たまごの焼き菓子類」「たまごのプリン」などを開発予定。販路は組合直営の直売所「卵菓屋」において対面販売を中心に展開する。また、ホームページの活用・ツアー客の呼び込み、催事への参加等による販促活動を行う。
㈱みやじ豚	藤沢市	H25.2.28	地域ブランドである『みやじ豚およびその加工品』を直接消費者へお届けする「新規宅配事業」	みやじ豚(精肉)および加工品を牛乳配達の仕事を活用して地域住民に直接販売する。なお、加工品とは生産したみやじ豚を委託加工でソーセージ、生ハム、ジャーキーの商品開発を行う。
㈱高座豚手造りハム	綾瀬市	H25.2.28	「高座豚」の端材ハム・未活用ラード等を活用した新商品開発および販売事業	① 商品として売ることのできない切れ端や形状不良のものを利用したハムのリエット ② 廃棄処分していたラードを利用した味付けラードの製造・販売を行う ① ②ともに瓶詰め商品とすることで、常温流通を可能にする。これによって取引先の開拓にもつながる。国内では一般に普及していない商品であるため、価格競争に巻き込まれにくく利益率向上に繋がる。
合資会社大家族	相模原市	H25.5.31	津久井在来大豆のうまみを生かした各種加工食品の開発・販売事業	自社生産した津久井在来大豆を活用して手造り豆腐や焼きおからクッキー、豆乳アレルギーの製造・販売により所得の向上を図る。
㈱高梨農園	三浦市	H25.5.31	未活用野菜を使用した加工品(野菜ゼリー等)の企画開発、製造、販売事業	未活用野菜を利用して、新商品「野菜ゼリー」「大根葉入浴剤」「乾燥野菜の炊き込みご飯」の製造・販売を行い経営の改善を図る。

平塚市漁業協同組合	平塚市	H25.5.31	平塚漁港で水揚げされる低・未利用魚の販路拡大と新商品開発による地産地消促進事業	低・未利用な魚種の販路拡大と新商品「カタクチイワシのアンチョビ」「塩漬けソウダカツオ」「須賀湊の燻し魚」の製造販売により経営の安定化を図る。
金澤鎮男	横須賀市	H25.5.31	地場の未利用・規格外の海藻を利活用した商品の加工・販売事業	未利用・規格外の海藻を利用して、新商品「海藻類の燻製」の製造・販売を行い、経営の安定化を図る。
㈱バンブーグラス	横須賀市	H25.5.31	SHOKU-YABO農園における自家製農産物を使った新商品開発と販売	自社生産の野菜を原材料に新商品「郷土おやき」「パーニャカウダ風野菜サラダ」の製造・販売を行い経営の安定化を図る。
ローズベリーファーム	相模原市緑区	H25.10.31	自家栽培ブルーベリーの未活用果実を使用した加工品の企画開発・製造・販売事業	未利用のブルーベリーを活用した新商品「ブルーベリージュース」を開発し、既存の販路に加えイベントを企画し販売する等、経営の安定化を目指す。
株式会社君栄	三浦市	H25.10.31	持続的な経営安定を実現する「未活用ちりめんを利用した新商品開発・販売事業」	未利用「ちりめん」を活用した新商品を開発し、デッドストックの解消、経営の安定化を目指す。
株式会社ちがさき牛	茅ヶ崎市	H25.10.31	新商品展開を踏まえた“ちがさき牛のおいしさ まるごと食べつくし”事業の展開	ちがさき牛をブランドとして確立させるため、新商品「ちがさき牛ホルモン」等を開発し、売上増加及び所得の向上を目指す。
愛川山菜園	愛甲郡愛川町	H25.10.31	自家生産のシイタケ・野菜等を使用した加工食品の製造・販売事業	ハウスで菌床栽培しているシイタケの加工品(佃煮)を販売しているが、さらに山椒や自然薯等を加えた新商品を開発し事業の拡大を図る。
社会福祉法人進和学園	平塚市	H25.10.31	6次産業化ネットワークを構築して取り組む地域農産物を活用した新商品の開発・販売による障害者就労支援及び地域活性化事業	JA、県農業技術センター、平塚市、NPO法人等とネットワークを構築し、自ら生産する野菜・果実とネットワーク内で生産される野菜・果実を原材料として湘南ブランドの加工製品の開発・販売を行い、障害者の就労支援を含む地域雇用の創出と地域農業の活性化を目指す。
いな丸	横須賀市	H26.2.28	経営の安定化を実現する加工品「わかめの茎の味噌漬け」の開発、販売事業	これまで廃棄していたわかめの茎を活用し、「わかめの茎の味噌漬け」の製造・販売により、所得の向上と経営の安定を図る。
あきさわ園	小田原市	H26.2.28	地域ブランドである湘南ゴールドとみかんの規格外品を使った加工・販売事業	自ら生産した「湘南ゴールド」と「みかん」の規格外品を活用し、シェイク、スムージー、カキ氷、ホットドリンクに使用可能な業務用フルーツソースの製造・販売により、収益の向上と地域の活性化を図る。
永島農縁	横浜市	H26.2.28	菌床しいたけと県内産野菜を使ったピクルス商品の開発・販売事業	自家生産の生しいたけを活用し、「和風しいたけ甘酢漬け」、「椎茸ピクルス」、「三浦半島の野菜と椎茸のピクルス」の製造・販売により、所得の向上を図る。
譲原 亮	横須賀市	H27.2.27	未利用魚であるサメ、アカエイを活用した加工、販売事業	市場での需要が無いため未利用となっているサメ・アカエイを活用し、「味噌漬け、粕漬け、ペットフード」を製造し、漁協直売所、横須賀市内の個人顧客、地元のペットショップ、インターネットモールで販売することにより、経営の安定化と地域の活性化を図る。
株式会社綾瀬グリーンファーム	綾瀬市	H27.2.27	地元産にんにくを利用した「黒にんにく」加工、販売事業	スーパーからの要望や加工業者から技術支援を受け、自社生産と地域の連携農家から供給されたにんにくを原料として、健康や美容に関心を持つ女性をターゲットに、「黒にんにく」を製造・販売する。販売は、大手スーパー、パン屋、直売所、インターネットモールとし、経営の安定化を実現するとともに雇用を推進し、地域の活性化を図る。
ライスフロンティア株式会社 代表取締役 前田一成	横浜市	H27.11.9	国内外の米の新規需要に対する米の加工・販売事業(中央サポートセンター支援:ファンド対応)	国内では中食・外食向けに供給される業務用米と清酒用・米菓用の加工用米の販売を行い、海外では、シンガポールに米の精米・加工・販売を行う「Rice Frontier Pte Ltd」を設立し、外食・中食業者には、精米、炊飯を販売し、卸売・小売業者等に玄米、精米の販売を行う。